

平成17年6月定例会会議録(第3号)

平成17年6月10日 金曜日 午前10時00分開議

大 沼 久 議 長 蒲 生 光 男 副議長

出 席 議 員 (2 1 名)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-----|----|-------|-------|-----|----|
| 1 番 | 我 妻 | 昇 | 議員 | 2 番 | 内 谷 | 重 治 | 議員 |
| 3 番 | 大 道 寺 | 信 | 議員 | 4 番 | 谷 口 | 栄 子 | 議員 |
| 5 番 | 佐 々 木 | 謙 二 | 議員 | 6 番 | 安 部 | 隆 | 議員 |
| 7 番 | 町 田 | 義 昭 | 議員 | 8 番 | 鳥 谷 | 政 一 | 議員 |
| 9 番 | 蒲 生 | 光 男 | 議員 | 1 0 番 | 渋 谷 | 佐 輔 | 議員 |
| 1 1 番 | 高 橋 | 孝 夫 | 議員 | 1 2 番 | 鈴 木 | 武 次 | 議員 |
| 1 3 番 | 小 関 | 勝 助 | 議員 | 1 4 番 | 鈴 木 | 良 雄 | 議員 |
| 1 5 番 | 鈴 木 | 小 市 | 議員 | 1 6 番 | 藤 原 | 民 夫 | 議員 |
| 1 7 番 | 蒲 生 | 吉 夫 | 議員 | 1 8 番 | 佐 々 木 | 榮 七 | 議員 |
| 1 9 番 | 島 田 | 友 市 | 議員 | 2 0 番 | 鈴 木 | 新 助 | 議員 |
| 2 1 番 | 大 沼 | 久 | 議員 | | | | |

欠 席 議 員 (0 名)

説 明 の た め 出 席 し た 者

| | | | | |
|-----------|---------------|-----------|----------------------|---|
| 目 黒 栄 樹 市 | 長 | 長谷部 宇 一 | 助 | 役 |
| 佐 藤 義 夫 | 収 入 役 | 平 進 介 | 総務課長兼選挙管理 委員会事務局長 | |
| 松 本 弘 | 財 政 課 長 | 松 木 幸 嗣 | 企 画 調 整 課 長 | |
| 中 井 晃 | 税 務 課 長 | 小 泉 良 一 | 市 民 課 長 | |
| 船 山 祐 子 | 健 康 課 長 | 宇 津 木 正 紀 | 福 祉 事 務 所 長 | |
| 高 橋 信 夫 | 会 計 課 長 | 金 田 寿 一 | 消 防 主 幹 | |
| 飯 田 武 志 | 監 査 委 員 | 田 中 勝 男 | 教 育 委 員 長 | |
| 大 滝 昌 利 | 教 育 長 | 安 部 嘉 徳 | 選 挙 管 理 委 員 会 長 | |
| 長谷部 惣 一 | 農 業 委 員 会 会 長 | 梅 津 和 士 | 農 林 課 長 | |
| 那 須 宗 一 | 商 工 観 光 課 長 | 浅 野 敏 明 | 建 設 課 長 | |
| 平 英 一 | 管 理 課 長 | 梅 津 敏 昭 | 文 化 生 涯 学 習 課 長 | |

| | | | |
|-------|----------------|--------|----------|
| 遠藤 正明 | 農業委員会事務局長 | 鈴木 要一郎 | 水道事業所長 |
| 堀 邦夫 | 学校給食 共同調理場長 | 沼澤 厚子 | 監査委員事務局長 |

事務局職員出席者

| | | | | |
|---------|--------|-------|---|---|
| 佐藤 仁 | 議会事務局長 | 児玉 行宏 | 補 | 佐 |
| 五十嵐 恵美子 | 主 任 | 塚田 知広 | 主 | 事 |

議事日程（第3号）

平成17年6月10日 金曜日 午前10時00分開議

日程第 1 市政一般に関する質問

4番 谷口 栄子 議員

2番 内谷 重治 議員

本日の会議に付した事件

議事日程（第3号）に同じ

開 議

大沼 久議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

大沼 久議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

谷口栄子議員の質問

大沼 久議長 それでは、順次ご指名いたします。

初めに、順位5番、議席番号4番、谷口栄子議員。

(4番谷口栄子議員登壇)

4番 谷口栄子議員 おはようございます。

6月定例会に当たり、次の2項目について一般質問させていただきます。

質問に入る前に所感を述べさせていただきます。6月1日厚生労働省の人口動態統計で発表された1人の女性が生涯に産む子供の平均数(合計特殊出生率)は、2004年は前年に並ぶ1.29で予想を上回るスピードで少子化が進み、2年後には、人口減少時代が到来するという不安が発表されました。昨年の赤ちゃんの出生数

は、全国で111万1,000人で、前年より1万3,000人減少しました。山形県では9,921人で、前年より166人減少しているのです。長井市では248人で前年より20人減っているのです。生まれてくる子供の数が減ると将来の働き手も減少することになり、税金や保険料を負担する人が減ってきます。企業の活力が失われ年金などの財源も足りなくなってしまうのです。経済の面でも社会保障の面でも人々が安心して暮らすことのできない社会になってしまうのです。社会全体での価値観の転換が迫られているのです。

公明党では、少子化問題に早い時期から着目し、生活者の目線でさまざまな子育て支援策を提言してきました。例えば児童手当、都議会公明党の推薦で、東京都が昭和44年に独自の制度としてスタートさせた児童手当は、昭和47年国の制度として創設されました。制度創設を勝ち取った後も粘り強く政府自民党を説得して、支給対象年齢の引き上げを推進してきました。長井市においても公明党の掲げる政策の一つでも多くを実現してほしいと要望、努力しているところです。

子育て世代の皆さんに、長井市に住んでよかった。長井市は安心して子供を産み育てられるまちだと喜んでいただける環境づくり、子育て支援の拡充に真剣に取り組んでほしいと市長、当局に願うものです。

それでは、質問に入ります。

1番目は、心身ともに健康な子供を育てる食育について。

1、小中学生の食育について、ここ数年長井小学校や長井南中学校の入学式、卒業式に参加させていただき感じてきていること。子供たちの体型の差が気になっていることです。大きな個人差はどうして生まれてくるのか。充実した食生活は心と体を元気にします。健康を守ります。育ち盛りの子供時代、小学生、中学生こそ、正しい食事のとり方、食べ物の栄養について、